

ドッコイ「春闘は死語」じゃないゾ

(奥田前経団連会長の弁)

低賃金雇用にあぐらかく経営者を包囲

07春闘 新たな息吹



発行所
東京都千代田区霞ヶ関
財務ビル内(〒100-0013)
全国税労働組合
発行人 岡田 俊明
電話 (03) 3581-3678
FAX (03) 3507-0886
振替口座 00140-2-68514

“税務の職場”
何でも110番
zenkokuzei@aol.com

全国税は、職場で起こった問題を解決するため「税務の職場、何でも110番」を常時設置しています(電話とFAXは上記の番号までどうぞ)。

全国税ホームページ
http://www.kokko-net.org/zenkokuzei

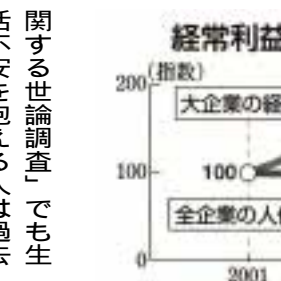
正規 非正規労働者ともども 賃上げを!!

「春闘は死語」と言ってはばかりない奥田前経団連会長のもとで、これまで要求を放棄してきた連合内のNTT労組が7年ぶり、電力総連は6年ぶりに賃上げ要求を掲げるなど、07春闘に新しいエネルギーが生まれています。

03年9月、「企業収益、設備投資の改善が消費に結びついていくか見極めたい」と当時の竹中経財相は語っていました。ところが四年以上たつた今、大田現経財相さえ「消費は横ばいで、いざ」とに奔走しています。

大企業は正社員を非正規社員に置き換え、「ワキングプアー」を拡大することで人件費を押し下げ、「生産性」を上げようとに奔走しています。

労働者の賃金を抑え、増えた利益を役員と株主に分け取りする構造は、際だって強まっています。一人当りの賃金は03年度から連続で減少しています。



〈注〉財務省の「法人企業統計」から作成。指数は、2001年度の金額を100とした場合の05年度の数字

07年国労連統一要求(賃金、労働時間要求抜粋)
賃金等の改善 国家公務員の賃金を平均月額一万二千元(2.9%)引き上げ、臨時、非常勤職員を含め公務職場に働く労働者の最低賃金を月額相当十五万円(時給千円、日給七千四百円)以上に引き上げ
労働時間短縮 年間総実労働千八百時間を早急に達成することと、所定内労働時間を一日七時間、週三五時間とし、ただちに一日七時間四分に短縮する
非常勤職員の均等待遇の実現 画一的で一方的な「雇止め」を規制するなど、制度の抜本的見直し、給与法をはじめ諸規定の整備と改善(一定期間勤務することが予定されている非常勤職員については、採用時からの年休取得を可能にする等)

07春闘で
全労連や連合は時給を
千円以上に引き上げる
よう要求しています

戦後初の所得増につながらない歪な景気回復が続く、消費の落ち込みや社会保障の担い手の不足、中堅や熟練労働者の減少など、社会に様々なひずみを生みだしています。



あの大臣のお母さん ガッカリだよ

73年から低下し始めた日本の出生率は、06年によく増加に転じようとしています。そうした折、女性を出産のための道具と貶める人権否定の発言を聞いたわが家の子どもは、「大臣を産んだお母さんが聞いたら、さぞガッカリだろうね。」と言いました。少子化対策をいうなら、男性を含めた働き方を変えること、勤務時間の短縮や収入の安定等、誰もが安心して子どもを産み育てられる環境をつくることこそがアノ大臣の役目ではないでしょうか。子どもとのふれ合い、ゆとりある環境をつくるため、仕事と生活を両立させ、人間らしく生き、働くため、みなさんのご意見・要求等をお寄せください。

「登用」は「抜てき」ではない 真の女性職員の底上げを

05年12月、「女性職員の採用・登用拡大に関する指針」が改定され、各府省庁には採用・登用に関する具体的な数値目標の設定、取り組みが求められています。

3・8国際女性デー
世界の女性たちが「くらし、権利、平和」のために連帯して行動する日。女性の権利の歴史において非凡な役割を果たしてきた普通の女性たちの行動を祝福する日として、国連デーと定め、事務総長も毎年メッセージを発表。わが国でも、1923年に「婦人講演会」として開催され、その後幾多の困難を乗り越え今日に引き継がれています。(07年国際女性デー・中央大会は、「改憲ストップ! 格差社会ノー! いま躍かせよう日本憲法を」をメインテーマに東京・九段会館で開催)

絶対に法改正、そしてパート法適用を。パートがいなければ職場はまわらないのに、賃金や福利厚生など大きく差別されています。ぜひ罰則規定をもつけて、きっちり均等待遇となるようにして下さい。

最低賃金で働いても貧困にならない社会を目標に、その抜本的な引き上げと全国一律の制度確立が求められています。(地域ごとの最低賃金の平均は、時給にしてわずか六百七十三円。フルタイムで働いても月十二万円程度にしかならない) こうした事態を転換するため、07春闘で全労連や連合は、時給を千円以上に引き上げるよう要求しています。

政府も「40年ぶりの最低賃金の改定案」を今の国会に提出しますが、時給を千円に上げたから、中小企業の経営を圧迫する、と消極的です。しかし、中小企業を「人質」に最低賃金の抜本的引き上げを拒むのは本末転倒です。中小企業経営者からも「最賃の引き上げは逆に、下請け中小企業が親会社に、それに見合ったまともな単価を堂々と要求する有力な根拠となる」との声が上がっており、両立できるものです。

10年ぶりの最低賃金引き上げ案を審議する米議会。「最低賃金のアップは地域と中小企業を活性化させる」と全米五百社以上の中小企業やベンチャー企業の経営者が声明をだし労働組合と一体で論陣をはっている。時給を5ドル台から7ドル台に引上げる法案は下院を通過。しかし企業減税と抱き合わせにする修正案がでている。声明は、「労働者に生活できる賃金を払わなければ貧困や貧弱な医療から生じる疾病や障害、死亡のリスクを社会全体で払わなければならない」と分析。「労働者の救済が先決」と批判。最賃引き上げという「中小企業がつぶれる」と目くじらを立てる日本の政府・財界。米国の中小企業経営者の見識に学ぶべき。

詰将棋

出題 九段 西村一義
中級クラス
ヒント
王方の応接に注意……。(10分で初段)
持駒 桂歩

6	5	4	3	2	1
			飛	馬	王
			金		

せめて45分の昼休み完全保障を

超勤野放し状態 拳署一体で規制かける

2・24 確申期ルポ

署外相談会 朝8時署を出発 9時に場に行くため 相談を開始。午後4時半



ハイカウンター 巡回指導 立ちっ放し・中腰で病人続出 「対面・着座」で職員健康守れ

受付を締め切り、5時にようやく相談は終了(交替制はとれず、一日ぶつづけで相談) 相談・提出件数をカウントし6時に帰署。毎日が超勤。

署外会場の職員を審査業務にまわすため3時ごろ一部職員は帰署。残った職員は1対10の相談でクタクタに。

全国的に急配備されたハイカウンター。局指示のとおり会場入口近くに

緊急申し入れ事項

- 1 昼休みを確実に確保させるためにも12時に相談を打ち切ること。
- 2 連日にわたる超勤をさせないこと。2時間を超える超勤を行わないこと。また、緊急に署の要望を求め、局署・署間応援及び法人課税からの応援を増やすこと。
- 3 立ちっ放し・中腰となる巡回指導やハイカウンターでの指導はやめ、対面・着座方式に変えること。やむなく継続する場合は合わせて半日以内の従事とし、休憩時間を確保すること。



配置(着座席は入口から見えないようにレイアウト)。職員だけでなく納税者も立ちっ放し、「何で立って書かなければならないの」と叫ぶ納税者に、ひたすら我慢をお願い。それを繰り返した後、「座る席もありませう」と、見えない着座席に案内立ちっ放しで気持ちが悪くなり救急車で運ばれる納税者。忘れ物も多発し、盗難事件も発生。

ハイカウンター導入について、当局は「職員が中腰にならないよう配慮した」もので、「試行著で苦情はなかった」と説明。

実際は、「リピーターの減少につながる」ためであり、「より多く流し込み、より早く書いてもらう」「狙いも三エエエで

職員からは、「ふくら

はぎがパンパン」「腰痛に加え膝も痛くなった」「座ってできる仕事に替わりたい」等の悲鳴が上がっています。

「老年者控除をとり上げられた。座ってかける椅子もとり上げるのですか」「弱者切り捨ての税務署版ですか」等のつぶやきが聞こえています。

これまで、「12時になると職員は一斉に席を離れます」と周知した後、12時になると担当者は一斉に持ち場を離れた状況から、今年は一変しています。

局は「相談は12時15分以降にズレこまないよう」とする一方、「12時15分までに来署した納税者に無用の誤解を受けないよう」とクギをさしています。

そのため、12時に午前中の相談を終了させる署は皆無で、「45分の昼休み」にくい込む相談が顕在化しています。

拘束時間延長・昼休み短縮にもとで、「この先午前中の相談時間がどれだけ伸びるのか」という不安の声が上がっています。

事実上「昼休み無し」という事態は即刻根絶しなければなりません。少なくとも、「12時15分になると職員は一斉に席を離れます」と周知徹底すると同時に、的確な受付・案内、オフライン版・タッチパネルも含めた会場チェックが必要になっていきます。

申告書提出が十万件を越える署では、2月から「火、木は全員3時間。除き2時間」の超勤命令が出され、もう！クタクタ状態です。そのため、3月から法人の上司以下全員を個人・資産課税に併任発令し、審査事務も含め超勤命令をだして乗り切る方策を打ち出しています。

多くの署でも、2月から内部担当は8〜9時までの連日の超勤。相談担当者も水曜日を除き2〜3時間の超勤は当たり前で超勤規制どころか野放し状態になってしま

するのは必至です。早急な増設が必要です。オフライン版の活用でも、第2表入力段階でアドバイスを求める手が頻繁に上がり、アルバイト職員はドギマギ。職員が対応するしかないケースが多発しています。

「リピーターの減少につながる」との理由で、大量に来署する納税者を物理的に捌くという点で効果があるタッチパネルの活用を縮小しています。そのため、申告書第1表も納税者に記入させるケースが増大し、このままでは会場がパンク

配置(着座席は入口から見えないようにレイアウト)。職員だけでなく納税者も立ちっ放し、「何で立って書かなければならないの」と叫ぶ納税者に、ひたすら我慢をお願い。それを繰り返した後、「座る席もありませう」と、見えない着座席に案内立ちっ放しで気持ちが悪くなり救急車で運ばれる納税者。忘れ物も多発し、盗難事件も発生。

タッチパネルの縮小は愚策 オフもアシスト必須

「リピーターの減少につながる」との理由で、大量に来署する納税者を物理的に捌くという点で効果があるタッチパネルの活用を縮小しています。そのため、申告書第1表も納税者に記入させるケースが増大し、このままでは会場がパンク



なんだ、この落差！

【北海道・道東支部】 1月26日付『はいはい道新』に、「初めての申告でゆっくりと分かりやすく教えてくれた中年の男性職員と若い職員の『説明書を読めば分かりますよ』と極めてお役所的で二度と行きたくないと思っ

たほどの冷たい対応の落差に驚いている」との記事があった。リピーターを作らないように「手引き等を用いて説明する」という方針なのだから若い職員が一方的に責められるのも酷か。若い職員は言われた通りにやるので苦情が増えている」と言った某署幹部もいるそうだが無責任だ。立って操作するオフライン版の強要も各地でトラブルを続発させている。リピーターを作らないという方針と

「苦情」は紙一重。薄氷の上を歩かされるのはいつも職員だからたまらない。

【近畿・北大阪支部】 尼崎署では、確定申告の相談に訪れた納税者に総合窓口でパソコンが使えるかを訊いて使えない人は確定申告書・二表を作成させてオフライン版パソコンに誘導。統括官がおじいちゃん・おばあちゃんを座らせ指導している。マウスの使い方(クリックができない)さえままならぬ納税者に説明を読ませながらの指導はいつまで経っても終わらない。

帰りにおばあちゃんが「よくまああ税務署は年寄りから高い税金を取って申告も自分でしろといじめてくれるわあ」との文句が。

【北海道・道東支部】 1月26日付『はいはい道新』に、「初めての申告でゆっくりと分かりやすく教えてくれた中年の男性職員と若い職員の『説明書を読めば分かりますよ』と極めてお役所的で二度と行きたくないと思っ

たほどの冷たい対応の落差に驚いている」との記事があった。リピーターを作らないように「手引き等を用いて説明する」という方針なのだから若い職員が一方的に責められるのも酷か。若い職員は言われた通りにやるので苦情が増えている」と言った某署幹部もいるそうだが無責任だ。立って操作するオフライン版の強要も各地でトラブルを続発させている。リピーターを作らないという方針と

「苦情」は紙一重。薄氷の上を歩かされるのはいつも職員だからたまらない。

【近畿・北大阪支部】 尼崎署では、確定申告の相談に訪れた納税者に総合窓口でパソコンが使えるかを訊いて使えない人は確定申告書・二表を作成させてオフライン版パソコンに誘導。統括官がおじいちゃん・おばあちゃんを座らせ指導している。マウスの使い方(クリックができない)さえままならぬ納税者に説明を読ませながらの指導はいつまで経っても終わらない。

帰りにおばあちゃんが「よくまああ税務署は年寄りから高い税金を取って申告も自分でしろといじめてくれるわあ」との文句が。

【北海道・道東支部】 1月26日付『はいはい道新』に、「初めての申告でゆっくりと分かりやすく教えてくれた中年の男性職員と若い職員の『説明書を読めば分かりますよ』と極めてお役所的で二度と行きたくないと思っ

たほどの冷たい対応の落差に驚いている」との記事があった。リピーターを作らないように「手引き等を用いて説明する」という方針なのだから若い職員が一方的に責められるのも酷か。若い職員は言われた通りにやるので苦情が増えている」と言った某署幹部もいるそうだが無責任だ。立って操作するオフライン版の強要も各地でトラブルを続発させている。リピーターを作らないという方針と

「苦情」は紙一重。薄氷の上を歩かされるのはいつも職員だからたまらない。

【近畿・北大阪支部】 尼崎署では、確定申告の相談に訪れた納税者に総合窓口でパソコンが使えるかを訊いて使えない人は確定申告書・二表を作成させてオフライン版パソコンに誘導。統括官がおじいちゃん・おばあちゃんを座らせ指導している。マウスの使い方(クリックができない)さえままならぬ納税者に説明を読ませながらの指導はいつまで経っても終わらない。

「着席の臭いもさうどもない」

全国税務局長

岡田俊明

2月2日、交渉の席で私は耳を疑いました。当局は、公式には「組合差別はしていないし、今後も行わない」と表明してきました。そこで私は、

「福田長官は東京国税局長、国税庁次長、国税庁長官というポストに就かれてきたが、その間に組

合差別が行われていたことには気づかなかったとしたら、おかしい。あるいは、部下が報告を怠ったことになる。」と指摘しました。

合差別が行われていたことは、福田長官自身は差別をする意思はないかもしれない」という仮定があり、この40余年の諸先輩の長官の下で方針を決定し実行してきた歴史と正面から向き合う意思を確認するつもりでした。ところが福田長官は、いともあっさり先輩諸氏同

様は、「福田長官自身は差別をする意思はないかもしれない」という仮定があり、この40余年の諸先輩の長官の下で方針を決定し実行してきた歴史と正面から向き合う意思を確認するつもりでした。ところが福田長官は、いともあっさり先輩諸氏同

タッチパネルの縮小は愚策 オフもアシスト必須

「リピーターの減少につながる」との理由で、大量に来署する納税者を物理的に捌くという点で効果があるタッチパネルの活用を縮小しています。そのため、申告書第1表も納税者に記入させるケースが増大し、このままでは会場がパンク

詰将棋

解答 2一飛成△同

玉 2三飛△2一角 3

三桂打△1玉 1一歩

△同玉 1三桂成△同角

2一飛成まで11手詰

解説 初手 1四飛は

△2三玉で届きません。

飛車を取り、2三飛が

好手だが、王方△2一角

が最善手、以下手順の追

詰となる。